

	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
開講時限	1~5 時限	1~5 時限	2~5 時限	2~5 時限	3~5 時限	登校自粛とし例外的なものを除き 対面授業は行わない
登校回数/週	制限なし	3回まで	3回まで	2回まで	2回まで	
教室定員に占める 学生数上限	制限なし	概ね2/3	概ね1/2	概ね1/2	概ね1/2	
学内での昼食	可	可	可	可	不可	
密接を 伴う演習	可	可	可	一部可 (指定規則 上やむを得ない場合)	不可	

東京都においては4月23日に緊急事態宣言が発出され、知事の要請を受けて、4月26日付で対面授業制限レベルを「レベル4」に引き上げました。本学では人口あたり感染者数や感染経路不明の割合(アンリンク割合)を踏まえレベルを決めています。

## 都内キャンパス緊急事態宣言を受け遠隔を増やし授業継続

これまでのレベル変更の経緯と判断理由は大学ホームページに掲載していますので、ぜひご参照ください。

医療保健の大学ですので演習や実習は非常に重要です。他方で近距離での会話が伴う、身体接触を伴う、マスクを外す等の演習は通常の講義と比べて感染リスクも高まります。このため本学では対面授業制限レベルに応じ「密接を伴う演習」の可否を判断しています。今般、都内キャンパスではこれらの演習も差し控えます。

### 千葉 和歌山 東京

東京に隣接する千葉県と、大阪府に隣接する和歌山県も、予断を許さない状況です。ウィズコロナの状況では、可能な範囲で対面授業を継続していくことも非常に重要です。そこで都内キャンパスよりは対面授業の幅を広げていますが感染拡大状況によって変更する可能性もありますので大学のホームページや各学部学科からの案内等をよく見るようにしてください。

遠隔授業を受講するにあたっては、本学の「情報倫理ガイドライン」も参照してください。



## 唾液PCRによるモニタリング調査を行います

このたび内閣官房・文部科学省・自治体などが「新型コロナウイルス感染症拡大の早期探知のためのモニタリング調査」を実施することとなり、本学も参加することになりました。本学では臨時健診の一環としてすべての学生・教職員を対象に実施する予定です。

この調査では「HELPOアプリ」を各自のスマートフォンにインストールすることで、各自でPCRの結果を確認できます。申し込み等の具体的な手順は、5月中に所属キャンパスからご案内します。



- HELPOアプリでラベルのQRコードを読み込みます
- 検査キットを開きます
- 漏斗と試験管を取り出します  
※試験管を持ったまま漏斗を回転させないで下さい。保存液が漏出し、使用不能になります。
- 唾液を漏斗に入れます。  
※試験管上の黒い線より上になるように十分な量を入れてください。
- 試験管を持ったまま漏斗を回転させて、漏斗を取り外します。
- 試験管の下についてるキャップを外して上部に装着して閉めます。
- QRコードのラベルを試験管に貼り付けます。
- この状態の唾液検体を指定場所に提出します。

検体採取前・提出後は必ず手指衛生を励行してください。  
唾液採取中はマスクを外すことになるので、会話は控えてください。

【唾液が出ない場合は】  
唾液腺(図の黄色い部位)をマッサージすると出やすくなります。

なお、日常生活における感染拡大防止にも一層の注意をお願いいたします。本学では4月6日に改めて「感染拡大警報」を発出して警戒を呼びかけています。とくに自治体が短縮要請した営業時間を超えて飲食店を利用することや要請に協力しない飲食店でアルバイトを行うことは厳に避けてください。

また、人数に関わらず飲み会や飲食を伴う歓迎会等の行事に出席すること、不特定多数の人が参加するイベントへの参加は自粛してください。

大阪や東京で広まっている変異ウイルスは感染力が強く、都内でも変異ウイルスによるクラスターが報告されました。国の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」でも「子供への罹患率が低いとされ、いた従来株と比較すると、変異株の子供への感染力は強い可能性がある」としており、本学としても引き続き厳重に警戒を続けています。